

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 114 号 2016.12.10
□ ■ □ -----

12月に入り、今年もいよいよ最後の月となりました。お歳暮の手配や年賀状の準備などはお済みでしょうか？忘年会やクリスマス会などのイベントの機会も多く、毎日が本当に慌ただしく過ぎていきますね。一方で、風邪やインフルエンザが流行る時期でもあります。お忙しくてもお体だけはどうぞ大事に、体調管理には十分お気をつけください。

■ ■ こどもとしょかんからのお知らせ □ -----

◆冬のおたのしみ会を開催します！

各図書館ともパネルシアターの上映や大型えほんの読み聞かせなど、楽しいプログラムを準備しております。ぜひご参加ください。

★中央図書館内こどもとしょかん

<日時> 12月24日(土) 午後2時～(約30分程度の内容です)

<場所> 中央図書館内こどもとしょかん くつろぎ広場

<対象> 4才～小学生

★行徳図書館

<日時> 12月14日(水) 午後2時30分～

<対象> 4才～小学生

<日時> 12月21日(水) 午後2時30分～

<対象> 5才～小学生

★信篤図書館

<日時> 12月9日(金) 午後3時～

<対象> 3才～小学生(親子での参加可)

○事前申込みは必要ありません。当日5分前までにお集まりください。

◆大野公民館図書室臨時休室のご案内

大野公民館図書室は、本へのバーコード貼付作業ため、下記の期間休室いたします。ご利用の方には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

○臨時休室期間 12月13日（火）～12月15日（木）

○大野公民館の本は、全てバーコードが貼られます。12月16日（金）からは、今までの貸出券が使えなくなりますので、お早目に図書館利用券をお作りください。

図書館利用券を作るには、住所の確認できるもの（健康保険証・免許証など）をお持ちください。

○住基カードをお持ちの方は、住基カード作成時に図書館利用券機能をつけている場合があります。住基カードの裏面にバーコードが貼られているかどうかを確認してください。住基カードの有効期限内は利用できます。

○20冊まで借りられるようになります。

■ ■ テーマ展示 □ -----

◆「文豪夏目漱石の世界～2016年 没後100年、2017年 生誕150年～」
（中央図書館／平成28年12月～平成29年1月）

文豪夏目漱石の作品は、今でも多くの人に愛されています。

作品の随所に織り込まれている文明批評や日本人論は、時代を先駆けて見抜く漱石ならではの筆致で書かれており、現代の私たちにも通ずるものがあると言われていています。

また、2016年は夏目漱石の没後100年、2017年は生誕150年の節目の年にあたります。

この機会に漱石の作品を読んだことのない方も、また、より詳しく作品に触れたい方にも楽しんで頂けるように、漱石の著作以外にも、彼を取り巻く家族、門下生の著作や彼らから見た漱石像など、様々な視点の本を紹介します。

明治と共に生き、日本の将来を心から憂いでいた夏目漱石の壮大な世界をのぞいてみませんか？

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1194.html>

○展示の本からいくつかをご紹介します。

◇『文豪の愛した東京山の手：漱石、鷗外、実篤、芥川を求め歩く』文

芸散策の会／編（日本交通公社出版事業局 1996）

明治時代の 2 人の文豪、夏目漱石と森鷗外が、時期は違いますが、同じ家に住んでいたことがあります。

先に住んだのは森鷗外で、1 年あまりで引っ越しますが、この家で『舞姫』を執筆しています。

その 11 年後に夏目漱石が越してきます。そして初の小説『吾輩は猫である』を書いたことから、この家は通称“猫の家”と呼ばれています。この本には家の間取りや書斎などの写真が多く載っており、文豪の当時の生活がうかがえます。

◇『漱石の愛した絵はがき』中島国彦／編，長島裕子／編（岩波書店 2016）

漱石は自分宛ての手紙のほとんどを処分していたようですが、絵はがきは大切に残していました。

それらの差出人は寺田寅彦や野上弥生子ら門下生達、漱石の家族、読者など多様で、絵はがきから漱石の人柄や交友がうかがえ、とても興味深いものがあります。

この本は、岩波書店所蔵の 300 通余りの絵はがきから精選された約 100 点をオールカラー、解説・翻刻付きで紹介しています。

漱石宛の魅力的な絵はがきの数々を皆様もご覧になりませんか？

◇『ノボさん：小説正岡子規と夏目漱石』伊集院静／著（講談社 2013）

ベースボールに魅了された青年「ノボさん」こと正岡子規は、大学予備門時代に、秀才と評判の夏目漱石と運命的な出会いをします。

親交を深め、文学界の発展に寄与する偉大な 2 人の心に沁みる青春小説です。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
